

山口 茜さん

応援レポート

2016 リオデジャネイロ オリンピック

2016年8月12日(金)～16日(火) リオデジャネイロ/Riocentro

国際大会では経験豊富な山口さん。
初出場のオリンピックでの活躍は？

2016年に開催されたリオデジャネイロオリンピックに、山口さんが出場権を獲得した。高校時代から国際大会を転戦し、世界ランキング12

位である山口さんにとって、オリンピックはどんな舞台になるのだろう。

オリンピックのシングルスは、予選グループで1位にな

らないとトーナメントに進むことはできない。その応援のため会場に向かうと、既に応援団が陣を張り、山口さん登場を待ち構えていた。



山口さんの地元の福井県勝山市応援団と、所属の再春館製薬所バドミントンチームが一団となって応援。「Go!茜」「ニッポン(チャチャチャ)」「せーの、一本！」などバリエーション豊富に声援。周りのブラジル人もたくさん応援してくれた

●バドミントンの基礎知識●

試合は3ゲームマッチで行われ、先に2ゲームを先取したほうが勝ち。ファーストゲーム(第1ゲーム)、セカンドゲーム(第2ゲーム)と進め、1対1になった場合は、ファイナルゲーム(第3ゲーム)が行われる。1ゲームは21点で、先に21点取ったほうが勝ち。ただし、20対20になった場合は、延長ゲームとなり、2点差がついた時点で終了。

●グループリーグと決勝トーナメント●

シングルスの出場選手は38名。3、4人の予選グループで試合を行い順位を決定。1位の選手が決勝トーナメントに出場する。

グループリーグ 1/2戦 8月12日(金)

立ち上がりの1ゲームは競り負け。 2ゲームめから調子を取り戻して、初戦を勝利

予選の相手はチェコの選手、世界ランキング49位だ。

ふたりが登場してきてまず、その体格の差に目を見張った。相手選手は177cm、156cmの山口さんが小さく見

えて少し不安になる。とはいえコートに立つ茜さんは普段と変わらない落ち着いた表情だ。そしてゲームが始まった。1ゲームは半ばまでリードしていたが、17-17と

追いつかれて奪われてしまいハラハラ。しかし山口さんは落ち着いて2ゲームから実力を発揮、3ゲームと続けて連取した！オリンピック初戦を勝利で飾った。



試合前、会場のモニターに選手
の紹介や様子が映し出された

グループリーグ 2/2戦 8月14日(日)

予選2戦目。山口さんが冷静にゲーム展開して勝利。 決勝トーナメントへ進出決定！

1日置いて予選2戦目の相手は世界ランキング29位のマレーシアのティー・ジンイ選手。ランキングは山口さんが上位とはいえ、そう簡単にはポイントを取らせてくれな

い。序盤にリードされたあと、17ポイントで山口さんが追いつく展開に。ゲームを先取したのは山口さんだ

インターバル中、ティー選手が脚の手当を受ける様子

が。どうやら調子が良くないらしい。どうなる？と気を揉んでいたところに試合がスタート。素人目にも動けていない様子だ。気の毒ではあるが、勝負は勝負。山口さんには自分のプレーを貫いて欲しいと願うのみだ。結果は山口さんがストレートで勝利。これで予選全勝となり。決勝トーナメント進出が決定した。



コートでは真剣勝負、一切笑顔ナシの山口さん。試合が終わってから応援団の元に挨拶に来てくれて、笑顔を見せてくれた(写真右下)

決勝トーナメント1回戦 8月15日(月)

世界ランキング4位の相手に、2ゲームを粘り勝ち。 伸び盛りの山口さんがベスト8入り！

トーナメント戦がスタート、この時点で山口さんはベスト16。1回戦の相手はタイの世界ランク4位の選手だ。

格上の選手との対決に不安を覚えつつ会場に到着して、応援にいらしている山口さんの高校時代の恩師にお尋ねしてみた。「何度も競っ

ている相手ですよ」との事。この2年くらいだとどうやら3勝2敗、ならば、いま成長中の山口さんの方に分があるはずだ！

ゲーム中盤までは1点ずつの攻防が続き、失点時には応援団から「落ち着いて」の声が飛ぶことも。いや、一番

落ち着いているのは山口さん自身で、たぶん応援団も試合を楽しむ余裕さえあった。相手のミスを誘い勝機を逃さず、茜さんはシーソーゲームを勝ち取ってみせた。また山口さんは強くなってる！試合後に山口さんが見せた笑顔もピカピカだった。



強い相手に、山口さんも必死で走り、シャトルを打つ。

右下は、試合後に家族との写真におさまる山口さん。ご両親に日本応援帽子を被らされていた

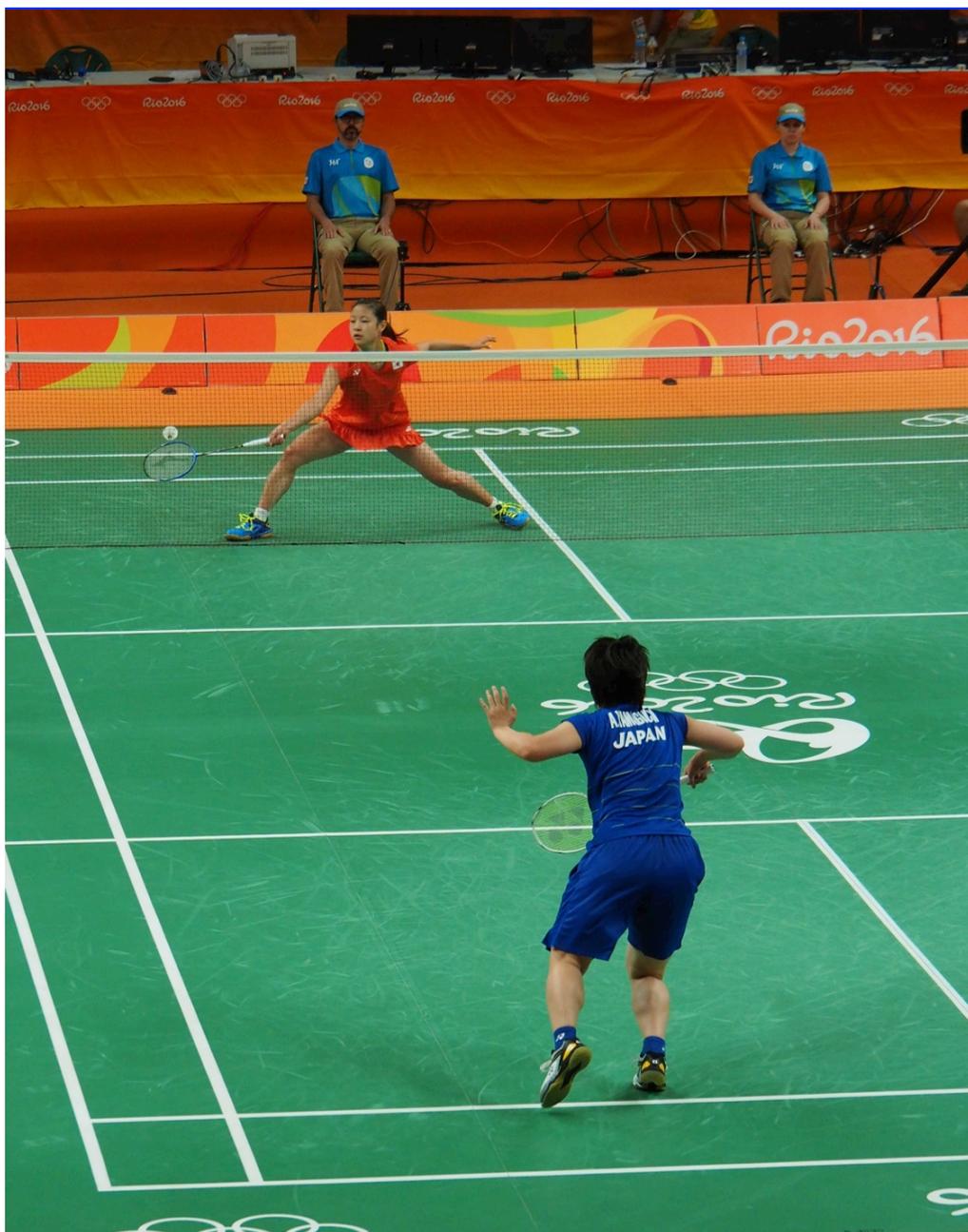
決勝トーナメント2回戦 8月16日(火)①

準々決勝で早くも日本人対決。 破れはしても、初の1ゲーム奪取。ベスト8おめでとう！

準々決勝は、日本人同士の対決となってしまった。相手の奥原選手は世界ランキング6位で、これまで山口さんは6戦して全敗している。もちろん、日本チームとしてお互い知り尽くしてもいる。

1ゲームめ、山口さんの決意がこもっているかのようなスマッシュが立て続けにポイント奪って行く。これまで全敗しているのがウソのようだ。そして、テンポよくそのまま21-11で山口さんがゲーム

を先取した！「初めて1ゲーム取った」と、感慨深げに所属チーム監督がおっしゃった。山口さんが、ここオリンピックの舞台でも進化をしている事実に触れ、しばしジーンとしてしまう。



日本人対決となり、インターバルでもコーチのアドバイスはない。孤高の闘いを続けるふたり
(写真右下)

2回戦 8月16日(火)②

しかし、2ゲームめから試合の様相がガラリと変わってきた。奥原さんのスマッシュが前後左右に決まってきた。最初先行していたが、山口さんは2ゲームめを取られてしまう。

この舞台で奥原選手から1勝を。しかし残念、3ゲームは奥原選手が圧倒的なプレーを続け、山口さんは一

歩及ばなかった。

山口さんは、試合後のメディアインタビューで、「今日からは最初から全力でいこうと思っていたし、それができたので悔いはないです。これがいまの実力です。次につながる試合になったと思うので、この経験を生かしてもっと強くなりたい。最後は笑って終わることが難しかったけ

ど、自分らしいプレーで最後まで戦えました」と涙をこらえて語っていた。

振り返ってみると、山口さんがさらなる成長を見せてくれ、心が揺さぶられた4試合の大会だった。

オリンピックの大舞台でなし得たベスト8、山口さん、おめでとうございます！これからも応援しています！



左写真、試合後に観客席に向けて挨拶してくれた山口さん。

右は、メディアインタビュー後に撮影に応じてくれた山口さん。奥原さんはインタビューで「茜ちゃんが本当に強くて」と語っていた



2016 リオ・オリンピックの結果

グループリーグ 1/2戦 8月12日(金)

女子シングルス			
奥原 希望 (日本ユニシス)	2	21-10 21- 8	0 VU Thi Trang (ベトナム)
山口 茜 (再春館製薬所)	2	20-22 21-12 21-15	0 GAVNHOLT Kristina (チェコ)

グループリーグ 2/2戦 8月14日(日)

女子シングルス			
奥原 希望 (日本ユニシス)	2	21-12 21-12	0 FANETRI Lindaweni (インドネシア)
山口 茜 (再春館製薬所)	2	21-18 21- 5	0 TEE Jing Yi (マレーシア)

決勝トーナメント1回戦 8月15日(月)

女子シングルス			
奥原 希望 (日本ユニシス)	2	21- 6 21- 7	0 BAE Yeon Ju (韓国)
山口 茜 (再春館製薬所)	2	21-19 21-16	0 INTANON Ratchanok (タイ)

決勝トーナメント2回戦 8月16日(火)

女子シングルス			
奥原 希望 (日本ユニシス)	2	11-21 21-17 21-10	1 山口 茜 (再春館製薬所)



18日に女子ダブルスの決勝戦を応援する山口さんを発見。

女子ダブルス(高橋・松友選手)が金メダル、女子シングルス銅メダル(奥原選手)を獲得した。ナショナルチームとして合同練習する機会も多く、山口さんもかなり刺激を受けたに違いない